

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 23 年 11 月 22 日 (火)

第 27 号

発行人 校長 鈴木史良

ものづくり体験学習の価値

—— 自分の感性を磨き、生き生きと学ぶ深中生 ——

11月18日(金)の5、6校時に「ものづくり体験学習」が行われました。目的は“日頃の体験が少ない「ものづくり」を通して、その作り方を学び、手作りのすばらしさや喜びなどを体験する”ためです。講師というお師匠さんのワザを間近に見ながら自分も作ってみるとい、自らの体験を通した学びは子どもたちの五感を刺激し、座学では得ることのできない新鮮な感動を与えてくれました。竹トンボの竹を薄く削っている時の緊張感とほのかに漂う竹の香り、そば粉をこねる手のひらの感触、ビーズに糸を通す指先の繊細な感覚等々、言葉では説明しがたい体験をそれぞれの子どもたちが体験できました。熟練のプロの技を随所に見て、大いに感嘆したのではないのでしょうか。ものづくり体験学習を行いながら、自分の将来の夢に思いを馳せた子どもたちも多かったのではないかと思います。このような点から、2年生がおこなった職場体験と同様、正しい職業観や職場観を身につけることにつながり、キャリア教育の一環とし位置づけることができます。また、地元の方々から伝統の技を学ぶということも中学生にとって有意義なことだと思います。当日ご協力いただいた講師の皆様にご心よりお礼申し上げます。



静岡新聞 11 月 19 日朝刊に掲載された記事

	講座名	講師	活動内容	参加者
1	竹ぼうき製作	土屋仁平様他	細い枝を針金で束ね、ほうきを製作	6名
2	手作りルアー	小林範泰様	アルミ缶を切って作ったオリジナル	11名
3	ケーナ製作	増田賢治様	歌口を削って南米伝統の縦笛作り	14名
4	畳細工作り	大庭健司様	い草の香る美しい置物を制作	11名
5	竹とんぼ作り	井草要市様	竹を薄く削って飛ぶように加工	14名
6	フェルト加工	岩田邦子様	フェルトを生かした小物作り	9名
7	リース製作	杉本万利子様	クリスマス飾りに使えるリース作り	8名
8	鉱石ラジオ製作	長澤正氏様他	ペットボトルにコイルを巻いて製作	20名
9	そば打ち体験	西島則夫様	そば粉をこね、打ち、切って試食	21名
10	ビーズ製作	柏木仁美様	ビーズを使い、複雑な装飾品を製作	23名

【中2男子生徒の講師宛礼状より】

鉤石（ゲルマニウム）ラジオ作り講師、沼津高専長澤教授、学生の皆様へ
「ものづくり体験学習」では貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。わたしは最初のコイルを巻く作業がうまくいかず、ご迷惑をおかけしましたが、詳しく教えていただいて完成させることができました。

心の中では、前半うまくいかなかったから聞こえないかもしれないと思っていました。調整しながらやっているうちに、ジジジとノイズが入りました。さらに調整していくと、ラジオから音楽が聞こえるようになり、「ああ、聞こえた！」と、とてもうれしい気持ちになりました。



理科室でおこなわれた鉤石ラジオ作り

将来、わたしは作り方を教わる側ではなく、教える立場の仕事をしたいです。だから、わたしはもっと努力をして夢を実現させていきたいと思います。



そば打ち体験での真剣な表情



伝統の竹ぼうき作りの技



リースに装飾を施す女生徒

第28回深良地区コミュニティ祭での活躍

11月20日（日）に深良コミュニティ祭が開催されました。深良中からは、例年おこなっている書道や美術等、生徒作品の展示物の他に、新たな取組として1.2年生有志によるボランティア活動、1年生による「深良用水プレゼンテーション」がおこなわれました。

地域コミュニティのお祭に中学生として積極的に協力していく姿勢はとても大切なことだと思います。1.2年生有志によるボランティア活動は、多くの地域の方々に深良中学校生徒たちのよさを見ていただけたと思います。

また、深良小体育館ステージでの1年生によるプレゼンテーションもすばらしいものでした。2月23日に初演される演劇「いのちの用水」に向け、地域の方々の期待がさらに高まる発表になりました。来年からは、コミュニティ祭でも演劇を上演する予定です。



豚汁、おでんの振舞いに大忙し



映像を使った1年生のプレゼン